

01 「The地球LIVE2010」に「なんとかしなきゃ！プロジェクト」が参加

8月12日、金沢城公園三の丸広場（石川県金沢市）で、「The地球LIVE 2010」が開催されました（金沢城オペラ祭実行委員会、北國新聞社、財団法人石川県芸術文化協会主催）。このライブは、地球規模の課題解決に向けたメッセージを、音楽を通じて発信するもの。4回目となる今年は、国際協力NGOセンター（JANIC）、JICA、国連開発計画（UNDP）で始動した、「なんとかしなきゃ！プロジェクト」が特別協力として参加しました。



(上)ライブの最後は、世界の平和を祈り、5人でジョン・レノンの「イマジン」を熱唱 ©北國新聞社
(下)JICAのブースでは、JICAボランティアの募集案内に興味を持つ来場者も

出演者は、持田香織さん、秦基博さん、一青窈さん、藤井フミヤさん、鈴木雅之さんら5人の実力派アーティスト。同プロジェクトの著名人メンバーでもある藤井さんは、「日本もいろいろな問題を抱えているが、世界にももっとみんなの助けを必要としている人がいる」と、開発途上国への支援の重要性を観客へ訴えました。

ライブには、県内外から約4000人が来場。会場内では、地元金沢のNPO法人「世界の砂漠を緑で包む会」、JICA北陸、プロジェクトがそれぞれブースを出展。活動を紹介するパネル展示やフェアトレード商品の販売などを通じて、来場者に国際協力への参加を呼び掛けました。

また、ライブ前後には、舞台横に設置された大型スクリーンで、プロジェクトのプロモーション映像や著名人メンバーのビデオメッセージが上映されました。

02 緒方理事長が韓国と中国を訪問 3国の協力関係の強化に向けて

9月1～4日、緒方貞子JICA理事長は、韓国ソウルと中国上海を訪問しました。

韓国では、有償資金協力を行う対外経済協力基金（EDCF）の母体・韓国輸出入銀行のキム・ドンス行長、技術協力・無償資金協力を担う韓国国際協力団（KOICA）のパク・デウオン総裁ほか、各界の有識者と会談を行いました。

EDCF、KOICAとJICAは、日韓の政府開発援助（ODA）の実施機関として、これまで協力関係を築いてきました。会談では、その関係をより強固にし、連携プロジェクトの拡大など、新たなパートナーシップの可能性や今後の抱負について意見が交わされました。

また中国では、国際関係などの分野で同国有数のシンクタンクで

ある上海国際問題研究院の研究員や大学院生約70人を対象に、「グローバル化時代のアジアと日中関係の展望」をテーマに講演。会場からは、「中国は日本の対外援助経験に何を学べるか」「貧困削減に日中はどう強調すべきか」「中国は難民問題にどんな貢献ができるか」などの質問が寄せられました。



韓国輸出入銀行のキム・ドンス行長と緒方理事長

03 青年海外協力隊・シニア海外ボランティア募集開始！

JICAは、青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの2010年度秋募集を開始しました。また、1年未満であれば参加できる方を対象とした短期ボランティアも、11月12日（金）～12月13日（月）の日程で募集を行います。応募資格、職種、応募方法、全国各地で約150回開催される「説明会&体

験談」（参加無料・申込不要）などの詳細については、ホームページをご覧ください。

募集期間：11月8日（月）まで

問：JICAボランティア募集選

考窓口

TEL：03-3406-9900

URL：www.jica.go.jp/volun

teer/